

試験名 : TRIGID1213 ver. 1.00 / 登録番号 : ----  
作成者 : 腸管不全事務局 / 作成日時 : 2014/03/05 18:28:04 (JST)  
1/23

## 検査 : 登録時・被験者背景・適格規準

更新日時 : ----

性別	*1
被験者識別コード	
生年月日	
TRIGID1212 登録番号	

## 適格規準

適格規準	小腸移植を実施した腸管不全患者 *2
------	-----------------------

## 列挙値一覧

No.	列挙値
*1	1 : 男性, 2 : 女性
*2	1 : はい, 0 : いいえ

試験名：TRIGID1213 ver. 1.00 / 登録番号：----

作成者：腸管不全事務局 / 作成日時：2014/03/05 18:28:04 (JST)

2/23

## 検査：登録時・原疾患

更新日時：----

移植	*1	
	回数	回目
	初回移植時の登録番号	
短腸症候群	*2	
	詳細	*3
	その他詳細	
	残存小腸の長さ	cm
腸管運動障害	*2	
	詳細	*4
	その他詳細	
その他	*2	
	詳細	*5
	その他詳細	

## 列挙値一覧

No.	列挙値
*1	1：初回移植, 2：再移植
*2	0：無, 1：有
*3	1：中腸軸捻転, 2：腹壁破裂, 3：壊死性腸炎, 4：先天性小腸閉鎖 5：上腸間膜血栓症, 6：クローン病, 7：外傷, 8：腸癒着症, 999：その他
*4	1：慢性特発性偽性腸閉塞症, 2：腸管神経節減少症, 3：腸管神経節未熟症 4：広範腸管無神経節症, 999：その他
*5	1：Microvillus inclusion disease, 2：デスマイド 3：ガードナー症候群, 999：その他

試験名 : TRIGID1213 ver. 1.00 / 登録番号 : ----  
作成者 : 腸管不全事務局 / 作成日時 : 2014/03/05 18:28:04 (JST)  
19/23

## 検査 : フォローアップ・ドナーの転帰[ ]

更新日時 : ----

調査年度		年度
ドナー	*1	
転帰	*2	
最終生存確認日		
死亡日		
死亡理由		

### 列挙値一覧

No.	列挙値
*1	1 : ドナー 1(小腸・多臓器移植の場合), 2 : ドナー 2(肝・小腸同時移植にてドナーが異なる場合)
*2	1 : 生存, 2 : 死亡, 3 : 追跡不能

## 検査 : 病理診断・病理診断[ ]

更新日時 : ----

### 担当医師記入欄

組織採取日	
中央病理番号	
担当医師名	
担当医師の E-mail	
臨床所見	

### 病理医 1

医療機関名・記入者 1	
所見 1	

### 病理医 2

医療機関名・記入者 2	
所見 2	

### 病理医 3

医療機関名・記入者 3	
所見 3	

### 病理医 4

医療機関名・記入者 4	
所見 4	

試験名 : TRIGID1213 ver. 1.00 / 登録番号 : ----

作成者 : 腸管不全事務局 / 作成日時 : 2014/03/05 18:28:04 (JST)

21/23

--	--

### 病理医 5

医療機関名・記入者 5	
所見 5	

厚生労働科学研究委託費（難治性疾患等実用化研究事業）  
委託業務成果報告（業務項目）

腸管不全・小腸移植病理の中央診断に関する研究

森井 英一	大阪大学大学院医学系研究科	病態病理学	教授
羽賀 博典	京都大学大学院医学研究科	病理診断科	教授
石田 和之	岩手医科大学医学部	病理診断学	准教授
和田 直樹	大阪大学大学院医学系研究科	病態病理学	助教

**研究要旨**

腸管不全などに伴う小腸移植においては、移植後の病理診断によるグラフトの評価が治療方針の決定に重要な役割を占める。しかし、移植病理を専門とする病理診断医の数は限られている。移植が行われた施設に所属する病理診断医は必ずしも移植病理を専門とはしていないため、移植後のグラフトの評価の正確性を担保することは困難である。そこで、移植病理を専門とする診断医で移植後の病理診断を行うシステムを構築し、中央診断体制を確立した。また、移植病理を専門とする病理診断医間の意見交換もできるような体制をとることとした。

## A. 研究目的

腸管不全などに伴う小腸移植においては、移植後の病理診断によるグラフトの評価が治療方針の決定に重要な役割を占める。しかし、病理診断を行う病理専門医の数は日本全体でも少なく、また特に移植病理を専門とする病理診断医の数は限られている。移植が行われた施設に所属する病理診断医は必ずしも移植病理を専門とはしていないため、移植後のグラフトの評価の正確性を担保することは困難である。

そこで、数の限られた移植病理を専門とする病理診断医どうしのネットワークを構築し、中央診断体制を構築することを目的に本研究を行った。

## B. 研究方法

現在、病理診断を行うために必要な組織標本情報を電子化し、離れた場所であっても、あたかも顕微鏡で直接標本を観察するかのように組織情報を得ることが技術的に可能となっている。この方法は、遠隔病理診断として知られており、迅速病理診断において保険収載されている。つまり、ある病院で手術を行い、その術中に提出された標本を迅速病理診断する際、組織情報を電子化し、異なる病院の病理専門医が診断することが保険診療として認められている。ただし、迅速診断ではない通常の病理診断では、まだ本手法は応用されておらず、組織標本を直接顕微鏡観察して診断することが保険診療においては求められている。移植標本の病理診断でも、各医療機関所属の病理専門医がまず診断することが必須であるが、遠隔病理診断の手法を用いてネットワークを構築し、中央診断することは可能

である。移植を主に行う医療機関である東北大学、京都大学、大阪大学をネットワークで結び、移植組織標本を中央診断する体制の構築を試みた。

### (倫理面への配慮)

研究目的で病理標本を利用することについて、大阪大学医学部倫理委員会で承認された様式に基づいて説明し、同意を得ている。

## C. 研究結果

組織標本の情報を電子化すると、一つの症例あたり1ギガバイト以上の容量となる。そこで、電子化された情報を大量に保存できる京都大学病理診断科の有するサーバを利用することとした。サーバに蓄積された情報は、東北大学、京都大学、大阪大学の移植病理を専門とする病理専門医の間で共有することができる。

移植を行った施設における病理組織標本そのものを、京都大学あるいは大阪大学の病理診断科に送付し、そこで組織情報を電子化する。電子化された情報は、移動可能なハードディスクで京都大学に集約し、そこでサーバに蓄積する。組織標本は、大阪大学の事務局で保管する。

京都大学のサーバに保管された電子情報をもとに、東北大学、京都大学、大阪大学の移植病理を専門とする病理専門医（中央診断担当病理医）が、それぞれ独自に所見をとる。その所見を、小腸移植登録システムの病理の項目に書き込む。病理の項目は、臨床所見と病理所見の2個の項目で構成される。臨床所見の項目は移植を担当した主治医が記入する。病理所見の項目は追記で

きる形態とし、東北大学、京都大学、大阪大学の中央診断担当病理医が独自に所見や診断を記入する。病理の項目に記入できる権限は、小腸移植登録システム各臨床担当医と中央診断担当病理医が持つ。

本中央診断システムを構築し、実際に東北大学の移植症例の登録、中央診断を現在試みている最中である。組織標本を大阪大学事務局へ送付し、大阪大学病理診断科で電子情報化し、移動可能なハードディスクで保存した段階である。

#### D. 考察

移植病理診断を中央集約化することは、治療方針の決定をはじめとした移植医療の精度管理上、重要である。組織診断を遠隔病理診断システムにて行うことは保険診療とされていないため、各移植施設の病理診断科で病理診断することは必要であるが、その診断に中央病理診断の意見を反映させることができれば、診断精度の向上が図れる。

さらに、本中央診断システムでは、移植病理を専門とする病理専門医間の意見交換も可能である。東北大学、京都大学、大阪大学の病理専門医の意見をまず独自に述べ、それを共有することで、互いの病理診断精度を高めることも可能である。

#### E. 結論

移植医療に重要な役割を果たす病理診断を、移植病理を専門とする複数の病理医によって中央診断するシステムを構築した。

#### G. 研究発表

##### 1. 論文発表

##### 2. 学会発表

#### H. 知的所有権の出願・登録状況 (予定を含む。)

1. 特許取得  
特になし
2. 実用新案登録  
特になし
3. その他  
特になし



### Ⅲ.学会等発表実績

学 会 等 発 表 実 績

委託業務題目「生体並びに脳死下小腸移植技術の確立と標準化の研究」

機関名 地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪府立母子保健総合医療センター

1. 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
新生児の難治性良性腫瘍の現状と展望 難治性肝血管腫	黒田達夫	周産期学シンポジウム	2014年2月	国内
短腸症候群に対して内科的・外科的治療に難渋している2幼児例	本多 昌平, 岡田 忠雄, 湊 雅嗣, 武富 紹信	第51回日本小児外科学会学術集会（大阪）	2014年5月10日	国内
Late onset portal vein stenosis after pediatric living donor liver transplantation （ポスター発表）	Takehisa Ueno, Kazunori Masahata, Mitugu Oowari, Keigo Nara, Shuichiro Uehara, Takaharu Ooue, Yoshinori Usui, Kazuhiko Bessho, Hiroki Kondo and Hiroomi Okuyama	WTC 2014	2014年7月	国外
Tacrolimus induced encephalopathy after pediatric living donor liver transplantation （ポスター発表）	Takehisa Ueno, Kazunori Masahata, Mitugu Oowari, Keigo Nara, Shuichiro Uehara, Takaharu Ooue, Yoshinori Usui, Kazuhiko Bessho, Hiroki Kondo and Hiroomi Okuyama	WTC 2014	2014年7月	国外
子どもの肝移植（教育講演）	上野豪久	大阪府民のための市民講座	2014年12月6日	国内

小児生体肝移植後の タクロリムス関連脳症の 血算の検討 (ポスター発表)	上野豪久、 松浦玲、 出口幸一、 大割貢、 梅田聡、 山道拓、 中島賢吾、 銭谷昌弘、 井深泰司、 奈良啓悟、 上原秀一郎、 大植孝治、 奥山宏臣	第50回日本移植学会 総会	2014年9月10日	国内
青年期に再発を来した 肝芽腫に対しての 生体部分肝移植術 —当院の肝芽腫に対する 肝移植術と比較して— (一般講演)	上野豪久、 山道拓、 梅田聡、 大割貢、 中島賢吾、 銭谷昌弘、 井深泰司、 奈良啓悟、 上原秀一郎、 大植孝治、 臼井規朗	第69回 日本消化器 外科学会総会	2014年7月17日	国内
小児生体肝移植後の 経皮経肝的門脈造影におけ る 合併症の報告 (一般講演)	上野豪久、 山道拓、 梅田聡、 大割貢、 中島賢吾、 銭谷昌弘、 井深泰司、 奈良啓悟、 上原秀一郎、 大植孝治、 大須賀慶悟、 臼井規朗	第32回 日本肝移植 研究会	2014年7月4日	国内
ヒルシュスプルング 類縁疾患の小腸移植 (シンポジウム)	上野豪久、 和田基、 星野健、 位田忍、 藤山佳秀、 馬場 重樹、 貞森裕、 福澤正洋	第51回 日本小児外科 学会学術集会	2014年5月8日	国内
小児肝・小腸移植 (教育講演)	上野豪久	第51回 日本小児外科 学会学術集会	2014年5月8日	国内

小児生体肝移植後の 晩期門脈狭窄 (一般講演)	上野豪久、 山道拓、 梅田聡、 大割貢、 中島賢吾、 銭谷昌弘、 井深泰司、 正嶋和典、 奈良啓悟、 上原秀一郎、 大植孝治、 近藤宏樹、 臼井規朗	第114回 日本外科学会 定期学術集会	2014年4月3日	国内
「腸管不全に対する 小腸移植技術の確立に 関する研究」の活動報告 (シンポジウム)	上野豪久、 福澤正洋	小腸移植研究会	2014年3月15日	国内
短腸症の小腸移植待機中に 急速に肝不全の進行した1例 (一般講演)	上野豪久、 松浦玲、 出口幸一、 奈良啓吾、 大割貢、 上原秀一郎、 大植孝治、 奥山宏臣	第44回 日本小児外科 代謝研究会	2014年10月31日	国内
小児肝・小腸移植の最前線 (教育講演)	上野豪久	第295回 NMCS例会	2014年1月17日	国内

## 2. 学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載した論文(発表題目)	発表者氏名	発表した場所 (学会誌・雑誌等名)	発表した時期	国内・外の別
Accumulation of cytosolic calcium induces necroptotic cell death in human neuroblastoma.	Nomura M, Ueno A, Sega K, Fukuzawa M, Kaneda Y	Cancer Res	2014	国外
Does laparoscopy-aided gastrostomy placement improve or worsen gastroesophageal reflux in patients with neurological	Kawahara H, Tazuke Y, Soh H, Yoneda A, Fukuzawa M	Journal of Pediatric Surgery	2014	国外
Physiological analysis of the effects of rikkunshito on acid and non-acid gastroesophageal reflux using pH-multichannel intraluminal impedance monitoring.	Kawahara H, Tazuke Y, Soh H, Yoneda A, Fukuzawa M	Pediatr Surg Int	2014	国外

<p>Generation of colonic IgA-secreting cells in the caecal patch.</p>	<p>Masahata K, Uemoto E, Kayama H, Kotani M, Nakamura S, Kurakawa T, Kikuta J, Gotoh K, Motooka D, Sato S, Higuchi T, Baba Y, Kurosaki T, Kinoshita M, Shimada Y, Kimura T, Okumura R, Takeda A, Tajima M, Yoshie O, Fukuzawa M, Kiyono H, Fugarasan S, Iida T, Ishii M, Takeda K</p>	<p>Nat Commun</p>	<p>2014年4月</p>	<p>国外</p>
<p>Bilateral Wilms tumors treated according to the Japan Wilms Tumor Study Group protocol.</p>	<p>Oue T, Koshinaga T, Okita H, Kaneko Y, Hinotsu S, Fukuzawa M</p>	<p>Pediatr Blood Cancer</p>	<p>2014</p>	<p>国外</p>
<p>Impact of Machine Perfusion Preservation of Liver Grafts From Donation After Cardiac Death.</p>	<p>N. Marsuno, K. Uchida, H. Furukawa</p>	<p>Transplantation Proceedings</p>	<p>2014</p>	<p>国外</p>
<p>Hepatic clearance measured with technetium-99m-diethylenetriaminepenta-acetic acid-galactosyl humanserum albumin single-photon emission computed tomography to estimate liver fibrosis.</p>	<p>Taniguchi M, Okizaki A, Watanabe K, Imai K, Uchida K, Einama T, Shuke N, Miyokawa N, Furukawa H</p>	<p>World Journal of Gastroenterology</p>	<p>2014年11月</p>	<p>国外</p>

Establishmnrny of Educational Program for Multiorgan Procurement From Deceased Donors.	M. Taniguchi, H. Furukawa, T. Kawai, H. Morikawa, K. Morozumi, M. Goto, T. Kondo, A. Aikawa, T. Ito, A. Takahara, M. Nio, N. Kokubo, S. Uemoto, N. Fukushima, K. Yoshida, T. Kenmochi, H. Date, M. Ono, S. Eguchi, T. Shimamura, K. Mizuta, T. Yoshizumi, T. Ueno	Transplant Proceedings	2014年5月	国外
【小児肝胆膵疾患のトランジション】 小児肝疾患の外科的治療 葛西手術	仁尾 正記, 佐々木 英之, 田中 拓, 岡村 敦, 渡邊 智彦	肝・胆・膵 69巻4号	2014	国内
【Intestinal Failureへの挑戦】 新生児期、乳児期発症の Intestinal failureの病態と その予後 特に肝障害の観点から	工藤 博典, 和田 基, 仁尾 正記	消化と吸収 36巻3号	2014	国内
【小児の移植】 小児移植医療 小腸移植	工藤 博典, 和田 基, 仁尾 正記	移植 49巻2-3	2014	国内
胆道閉鎖症	仁尾 正記	日本小児外科学会雑誌 50周年記念号	2014	国内
国立成育医療研究センター における腎移植の適応と成績 (原著論文)	田中秀明、 湊本康史、 金森豊、 小椋雅夫、 亀井宏一、 伊藤秀一、 上岡克彦、 小山一朗、 黒田達夫、 坂本靖介、 笠原群生	移植	2014年5月	国内
肝血管腫	黒田達夫、 星野健、 藤野明浩、他	周産期医学	2014	国内

Migration and differentiation of transplanted enteric neural crest-derived cells in murine model of Hirschsprung's disease.	Nishikawa R, Hotta R, Shimajima N, Shibata S, Nagoshi N, Nakamura M, Matsuzaki Y, Okano HJ, Kuroda T, Okano H, Morikawa Y	Cytotechnology	2014年9月18日	国外
The spectrum of ZEB2 mutations causing the Mowat-Wilson syndrome in Japanese populations.	Yamada Y, Nomura N, Yamada K, Matsuo M, Suzuki Y, Sameshima K, Kimura R, Yamamoto Y, Fukushi D, Fukuhara Y, Ishihara N, Nishi E, Imataka G, Suzumura H, Hamano S, Shimizu K, Iwakoshi M, Ohama K, Ohta A, Wakamoto H, Kajita M, Miura K, Yokochi K, Kosaki K, Kuroda T, Kosaki R, Hiraki Y, Saito K, Mizuno S, Kurosawa K, Okamoto N, Wakamatsu N	Am J Med Genet A	2014年8月	国外
Long-term native liver fibrosis in biliary atresia: development of a novel scoring system using histology and standard liver tests.	Tomita H, Masugi Y, Hoshino K, Fuchimoto Y, Fujino A, Shimajima N, Ebinuma H, Saito H, Sakamoto M, Kuroda T	J Hepatol	2014年6月	国外
Critical hepatic hemangioma in infants: recent nationwide survey in Japan.	Kuroda T, Hoshino K, Nosaka S, Shiota Y, Nakazawa A, Takimoto T	Pediatrics International	2014年6月	国外

Application of nuclear medicine to achieve less invasive surgery for malignant solid tumors in children.	Hotta R, Fujimura T, Shimajima N, Nakahara T, Fuchimoto Y, Hoshino K, Morikawa Y, Matsufuji H, Kuroda T	Pediatr Int	2014年4月	国外
Nationwide survey of the outcomes of living donor liver transplantation for hepatoblastoma in Japan.	Sakamoto S, Kasahara M, Mizuta K, Kuroda T, Yagi T, Taguchi T, Inomata Y, Umeshita K, Uemoto S	Liver Transpl	2014	国外
Isolated intestinal neuronal dysplasia Type B (IND-B) in Japan: results from a nationwide survey.	Taguchi T, Kobayashi H, Kanamori Y, Segawa O, Yamatoka A, Sugiyama M, Iwanaka T, Shimajima N, Kuroda T, Nakazawa A, Oda Y, Miyoshi K, Ieiri S	Pediatr Surg Int	2014	国外
生体肝移植後の学童後期・思春期の小児の療養生活の実態と生活の満足度	藤田 紋佳、 林田 真、 田口 智章	移植	2014	国内
特集 小児肝胆膵疾患の トランジション 肝移植	松浦俊治、 林田 真、 吉住朋晴、 調 憲、 前原喜彦、 田口智章	肝胆膵	2014	国内
肝移植、 今日の治療指針 私はこちら治療している。	八木孝仁	医学書院	2014	国内
アルコール性肝不全の 肝移植適応-sobriety (6-months rule)と recidivism- アルコール性肝硬変患者に おける、 肝移植を含む 包括的アルコール依存症 治療プログラムの試み	八木孝仁、 吉田龍一、 保田裕子、 松本洋輔、 貞森 裕、 篠浦 先、 榎田祐三、 信岡大輔、 内海方嗣、 藤原俊義、 高木章乃夫、 山本和秀、 清水千聖	肝移植後グラフト 機能不全/ アルコール性肝不全の 肝移植適応	2014	国内



et al. Frequent incidence of escape mutants after successful hepatitis B vaccine response and stopping of nucleos(t)ide analogues in liver transplant recipients.	Ishigami M, Honda T, Ishizu Y, Onishi Y, Kamei H, Ogura Y	Liver Transpl	2014	国外
Living donor liver transplantation using a right liver graft with additional vein reconstructions for patient with situs inversus.	Kamei H, Onishi Y, Ogawa K, Uemoto S, Ogura Y	Am J Transplant	2014	国外
et al. Plasma cell hepatitis induced by the termination of antiviral therapy for recurrent hepatitis C after living donor liver transplantation.	Ueda Y, Yoshizawa A, Ogura Y, Miyagawa-Hayashino A, Haga H, Chiba T	Hepatol Res	2014	国外
Luminal Injection of Hydrogen-Rich Solution Attenuates Intestinal Ischemia-Reperfusion Injury in Rats.	Shigeta T, Sakamoto S, Li X, Gai S, Liu C, Kurokawa R, Nakazawa A, Kasahara M, Uemoto S	Transplantation	2014年12月23日	国外
The use of serial assessment of disease severity and liver biopsy for indication of liver transplantation in pediatric Epstein-Barr virus-induced fulminant hepatic failure.	Nakazawa A, Nakano N, Fukuda A, Sakamoto S, Imadome KI, Kudo T, Matsuoka K, Kasahara M	Liver Transpl	2014年11月28日	国外
Evaluation of the immune function assay in pediatric living donor liver transplantation.	Fukuda A, Imadome KI, Sakamoto S, Shigeta T, Uchida H, Matsunami M, Sasaki K, Kanazawa H, Kawano F, Nakazawa A, Fujiwara S, Kasahara M	Pediatr Transplant	2014年11月23日	国外

Two-step transplantation for primary hyperoxaluria: A winning strategy to prevent progression of systemic oxalosis in early onset renal insufficiency cases.	Sasaki K, Sakamoto S, Uchida H, Shigeta T, Matsunami M, Kanazawa H, Fukuda A, Nakazawa A, Sato M, Ito S, Horikawa R, Yokoi T, Azuma N, Kasahara M	Pediatr Transplant	2015年2月	国外
Basiliximab treatment for steroid-resistant rejection in pediatric patients following liver transplantation for acute liver failure.	Shigeta T, Sakamoto S, Uchida H, Sasaki K, Hamano I, Kanazawa H, Fukuda A, Kawai T, Onodera M, Nakazawa A, Kasahara M	Pediatr Transplant	2014年12月	国外
Technical refinement in living-donor liver transplantation for hepatoblastoma with main portal vein tumor thrombosis – a pullout technique.	Kanazawa H, Sakamoto S, Matsunami M, Sasaki K, Uchida H, Shigeta T, Fukuda A, Matsumoto K, Nakazawa A, Tanaka R, Kasahara M	Pediatr Transplant	2014年12月	国外
Hepatic artery reconstruction preserving the pancreaticoduodenal arcade in pediatric liver transplantation with celiac axis compression syndrome: report of a case.	Uchida H, Sakamoto S, Matsunami M, Sasaki K, Shigeta T, Kanazawa H, Fukuda A, Nakazawa A, Miyazaki O, Nosaka S, Kasahara M	Pediatr Transplant	2014年11月	国外
Experience of treating biliary atresia with three types of portoenterostomy at a single institution: extended, modified Kasai, and laparoscopic modified Kasai.	Wada M, Nakamura H, Koga H, Miyano G, Lane GJ, Okazaki T, Urao M, Murakami H, Kasahara M, Sakamoto S, Ishizaki Y, Kawasaki S, Yamataka A	Pediatr Surg Int	2014年9月	国外

Romiplostim treatment allows for platelet transfusion-free liver transplantation in pediatric thrombocytopenic patient with primary sclerosing cholangitis.	Minowa K, Arai K, Kasahara M, Sakamoto S, Shimizu H, Nakano N, Ito R, Obayashi N, Nakazawa A, Ishiguro A	Pediatr Transplant	2014年9月	国外
Technical considerations of living donor hepatectomy of segment 2 grafts for infants.	Sakamoto S, Kanazawa H, Shigeta T, Uchida H, Sasaki K, Hamano I, Fukuda A, Nosaka S, Egawa H, Kasahara M	Surgery	2014年11月	国外
Successful living donor liver transplantation for giant extensive venous malformation.	Hatanaka M, Nakazawa A, Nakano N, Matsuoka K, Ikeda H, Hamano I, Sakamoto S, Kasahara M	Pediatr Transplant	2014年8月	国外
Japanese Liver Transplantation Society. Nationwide survey of the outcomes of living donor liver transplantation for hepatoblastoma in Japan.	Sakamoto S, Kasahara M, Mizuta K, Kuroda T, Yagi T, Taguchi T, Inomata Y, Umeshita K, Uemoto S	Liver Transpl	2014年3月	国外
Central pontine myelinolysis following pediatric living donor liver transplantation: a case report and review of literature.	Uchida H, Sakamoto S, Sasaki K, Hamano I, Shigeta T, Kanazawa H, Fukuda A, Nosaka S, Kubota M, Kasahara M	Pediatr Transplant	2014年6月	国外
Urgent living donor liver transplantation for biliary atresia complicated by a strangulated internal hernia at Roux-en Y limb: a case report.	Uchida H, Sakamoto S, Hamano I, Kobayashi M, Kitajima T, Shigeta T, Kanazawa H, Fukuda A, Kasahara M	Ann Transplant	2014年3月	国外

Effect of graft size matching on pediatric living-donor liver transplantation in Japan.	Kasahara M, Sakamoto S, Umeshita K, Uemoto S	Exp Clin Transplant	2014年3月	国外
Echovirus 3 as another enterovirus causing life-threatening neonatal fulminant hepatitis.	Miyata I, Hanaoka N, Okabe N, Fujimoto T, Sakamoto S, Kasahara M, Saitoh A	J Clin Virol	2014年2月	国外
Living donor liver transplantation for pediatric patients with metabolic disorders: the Japanese multicenter registry.	Kasahara M, Sakamoto S, Horikawa R, Koji U, Mizuta K, Shinkai M, Takahito Y, Taguchi T, Inomata Y, Uemoto S, Tatsuo K, Kato S	Pediatr Transplant	2014年2月	国外
Hepatocyte transplantation using a living donor reduced graft in a baby with ornithine transcarbamylase deficiency: a novel source of hepatocytes.	Enosawa S, Horikawa R, Yamamoto A, Sakamoto S, Shigeta T, Nosaka S, Fujimoto J, Nakazawa A, Tanoue A, Nakamura K, Umezawa A, Matsubara Y, Matsui A, Kasahara M	Liver Transpl	2014年3月	国外
小児固形悪性腫瘍の外科治療 肝芽腫に対する肝移植治療	笠原 群生, 阪本 靖介	日本小児血液・ がん学会雑誌 51巻3 号	2014	国内
Impact of intestinal transplantation for intestinal failure in Japan.	Ueno T, Wada M, Hoshino K, Uemoto S, Taguchi T, Furukawa H, Fukuzawa M	Transplant Proc	2014	国外
ECD for small Intestinal Transplant	Ueno Takehisa	Marginal Donor	2014	国外
小腸移植の歴史	上野豪久	移植学会50年記念誌	2014	国内
小腸移植	上野豪久	移植医療部 10周年記念誌	2014	国内